

第2回総務文教常任委員会会議録

- 1 開会日時 平成31年2月13日（水）午前10時0分
- 2 閉会日時 平成31年2月13日（水）午前11時58分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
1 番 永徳 省二君 7 番 大口 浩志君 11 番 松田 勲君
12 番 北川 勝義君 16 番 下山 哲司君 17 番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
副 市 長 倉迫 明君 教 育 長 内田 恵子君
総合政策部長 作間 正浩君 総 務 部 長 前田 正之君
財 務 部 長 藤原 義昭君 教 育 次 長 藤井 和彦君
熊山支所長兼 吉井支所長兼 徳光 哲也君
市民生活部参与兼 市民生活課長 秘書企画課長 小引 千賀君
市民生活課長 消防本部消防長 総 務 課 長 原田 光治君
消防本部消防長 まち・ひと・しごと 財 政 課 長 和田美紀子君
創 生 課 長 土井 常男君 税 務 課 長 遠藤 健一君
くらし安全課長 管 財 課 長 小坂 憲広君 学校教育課長 松井 啓子君
管 財 課 長 安本 典生君 中央学校給食センター 久山 勝美君
教育総務課長 土井 道夫君 所 長
社会教育課長兼 消防本部 消防総務課長 檜原 秀幸君
スポーツ振興課長
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 奥田 吉男君 主 事 松尾 康平君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

以上会議録は事実と相違ないので署名する。

平成 年 月 日

委員長

午前10時0分 開会

○委員長（北川勝義君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから第2回総務文教常任委員会を開催したいと思います。

初めに、倉迫副市長のほうから御挨拶をお願いしたいと思います。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 副市長。

○副市長（倉迫 明君） 皆さん、改めましておはようございます。

本日は市長があいにく公務のため出張が入りましたので、かわりに御挨拶を申し上げます。

委員の皆様には、お忙しい中、第2回総務文教常任委員会を開催いただき、ありがとうございます。本日は、事業の進捗状況、そして3月議会定例会提出予定議案につきまして慎重なる御審査を賜りますようお願いを申し上げまして御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入りますが、その前に私のほうから皆さんにお諮りしたいので、実は先ほど市長のほう为上京しとるということで、副市長のほうから御挨拶がありました。それはこの間の委員会のときも副委員長と休まれても市のために行っていただくんじやから、よかろうということ、よかろう言うたら言い方悪い、勝手に独断ですけど、2人で相談して決定させていただいております。

それからもう1点は、きょう12時15分から給食センターで試食をやってみようということで、議員は全員と何名か行くようになっております。その中で、大変申しわけないんですけど、2月の議会の中で進捗状況とか、その他もあります、進捗状況が主でありますので、できましたら12時10分ぐらいにここを終了させていただきたいと委員会は思っております。やる前から皆さんに質問をとめるということはありませんが、やっていただきゃ結構なんですけど、また場所を動いて食事をしてきてまた帰ってここでやるということになって、また傍聴の方もおられてたまたもし大事なことがあったら、それはまた困るということもあるんで、できましたら12時10分ぐらいに閉めたいと思っております。それで、きょうはトイレ休憩もとりません。行かれる方は随時行かれて自分の関心のあるところでやられるときには、ちょっと待っていただくとか、よろしくお願したいと思います。執行部の皆さんも、トイレ行かれるときはそのようにしてやっていただきたいと思います。

それからもう1点、土井課長のほうで御不幸がありましたということで、説明が終わりましたら、退席させていただくことに皆議長の配慮もあったり、帰ってくださいと言やあ、責務を果たして帰ると言われるんで、いつまでになるか、9時までかかっても困りますけど、なるべく説明が終わり次第帰っていただくという気持ちにしとりますので、皆さんそのように取り計らってやらせていただいて結構でしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それでは、そのようにさせていただきたいと思います。

それでは、これから協議事項に入ります。

1番目の事業の進捗状況について、各部ごとに説明願いたいと思います。

なお、質問につきましては、一括で質問を受けたいと思います。前後どこの部間になると思いますが、よろしくお願いたしたいと思います。

それから、先ほどお断りしましたように、土井課長のほうが帰られるんで、できりゃあそのところ聞きたいのがあったら先に聞いていただければと思いますので、よろしくお願います。

それでは、総合政策部のほうから説明願いたいと思います。

○秘書企画課長（小引千賀君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○秘書企画課長（小引千賀君） バスのラッピングについて説明をさせていただきます。

資料はございません。

11月開催の当委員会で説明をいたしました市民バスのラッピング事業につきまして、車両のラッピングが完成いたしましたので、御報告いたします。

今週2月15日金曜日から可真・桜が丘線として当車両が走行いたします。運行開始に当たりまして、本日中央公民館の駐車場にラッピングした車両を準備させていただきました。この後夕方まで駐車しておりますので、お手すきのときにでもごらんいただければと思います。今週末発行予定の広報あかいわ3月号でもカラーで御紹介をいたします。わかりにくいとの御意見から実現した事業でございますので、さらに市民の皆様にご覧いただけるよう、ほかの市民バスにも順次広げてまいります。

秘書企画課からは以上です。

○まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 土井課長。

○まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） 創生課からは、移住相談会について御報告させていただきます。

1月12日に大阪で開催された、済みません、資料1ページをお開きください、岡山県主催の兵庫県・岡山県合同移住相談会及び1月27日に東京で開催された岡山市主催おかやまぐらし移住相談会with香川県高松市について報告します。

まず1つ目の兵庫県・岡山県合同移住相談会ですが、平成31年1月12日11時から16時まででマイドームおおさかにて開催いたしました。参加団体は、岡山県内8市町と兵庫県の5市町でありました。来場者数は27組43名、そのうち赤磐市へは5組が来られまして、その中の2組は市内案内を希望されております。また、1組は5月におためし住宅の利用申し込みがありました。

た。

続きまして、2つ目。おかやまぐらし移住相談会 with 香川県高松市でございますが、こちら平成31年1月27日11時から16時までで、東京交通会館12階ダイヤモンドホールにて開催いたしました。参加団体は、岡山県内10市町と香川県の高松市、岡山盛り上げよう会などの7団体で行いました。来場者数は38組、約53人のうち、赤磐市には5組が来られまして3組は赤磐市に興味を持たれ、そのうち1組は市内案内を希望されておりました。

続きまして、2ページ目をお開きください。

こちら赤磐市のクラウドファンディングについてですが、こちらのチラシは赤磐市が行うクラウドファンディングのチラシでございます。なぜこの企画を行うかと言いますと、赤磐市は平成30年8月より地域特化型クラウドファンディングFAAVOの自治体初の岡山県パートナーとなり、FAAVOのカフェの開催やクラウドファンディングセミナーなどの実施を通じまして、市民のアイデアや夢の実現に向けて支援を行ってきております。まだ、実際にクラウドファンディングを活用するような取り組みまではしていないため、クラウドファンディングの啓発と移住・定住の促進を図るために、まち・ひと・しごと創生課がプロジェクト起案者となるクラウドファンディングを活用したプロジェクトを現在実施しております。内容は移住というキーワードに興味のある人や何か楽しいことをやりたい、人とつながりたいと思っている人が気軽に集える場づくりを行い、募った人同士のネットワークづくりとクラウドファンディングの普及啓発を目指すものでございます。現在、この企画の状況であります。31年の1月21日から開始いたしまして、2月17日日曜日、あと5日になりますが、支援を募っております。けさの状況であります。目標金額は9万3,000円で、そのうち現在50%4万7,000円が集まっております。目標20名程度を思っております。今現在、大人13人、子供4人、計17人の参加となっております。たとえ定員割れとなりましても、この会は開催いたしまして、今後も継続することにより、ネットワークを広げていく予定にしております。

事業の進捗状況は以上でございます。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 小坂課長。

○管財課長（小坂憲広君） 財務部管財課から1件、事業進捗状況でございます。

財務部資料をお願いいたします。

桜が丘西5丁目地内の土地取得案についてでございます。

こちらのほうですが、平成29年12月の総務文教常任委員会で報告しました大和ハウス工業所有の土地、桜が丘西5丁目11番2号、中央ショッピングセンターに隣接する土地になります。

財務部資料1ページ見ていただきまして、赤色の①番、こちらの土地になります。こちらのほうですが、約3,000平米と書いてありますが、正式には2,942平米になります。こちらの件でございます。

この事業につきましては、地域整備推進室が市の担当となりまして、大和ハウス工業及び地元との調整を行っているものでございます。平成29年度に大和ハウス工業より市が希望するのであれば桜が丘地内の市が所有する遊休地と双方の条件が合えば交換に応じることが可能であるとの意向を受けているものでございます。市としましても、桜が丘ショッピングセンター跡地を含め、このエリアについては桜が丘の中心部に位置する重要な資産として認識しています。桜が丘地内にある遊休資産との交換によりまして、取得することで中心部としてふさわしい魅力づくりのために交換を進展させたいと考えております。現在考えられる候補地としましては当初は桜が丘西8丁目36-1、雑種地、普通財産4,418平米、財務部資料1ページの赤丸の3番になります。桜が丘西8丁目のグラウンド、こちらのほうで現在は特に活用していない物件であるため、交渉を進めているところですが、交渉を進めていく上で、代替地の周囲がのり面、斜面、一部山林との境など有効な面積が少ないなどの考え方を整理する中で用地の追加が必要となり、今回桜が丘東1丁目地内の公園用地、赤丸の2番になります。こちらのほうを新たに候補地として検討を進めていきたいと考えております。

管財課からは以上でございます。

○教育長（内田恵子君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 教育長。

○教育長（内田恵子君） ニュージーランドに渡航した件の報告をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員長（北川勝義君） はい。

○教育長（内田恵子君） 1月末に市長、議長、私教育長、それからオリンピック推進班長の4名で東京オリンピック事前キャンプ誘致のお願いにニュージーランドに渡航させていただきました。

1月27日に4名でニュージーランドホッケー協会を訪問しました。ホッケー協会では、ホッケー協会の最高責任者であるイアン氏、それから強化責任を持っておられるポール氏の2名とお会いし、赤磐市の意向をお伝えしたところ、非常に好感触の回答をいただくことができました。内容的には8月上旬に約1週間、ニュージーランド女子ホッケーチームが赤磐市で合宿をしたいという表明をいただきました。また、その間、歓迎、送別のセレモニー、地域交流や小中学生のホッケー教室などの開催についても御了承をいただいたということを報告させていただきます。

今後、金銭面による支援、それから合宿の条件などを話し合い、文書による正式な回答書をいただいてから公式発表とさせていただきたいと思います。今後とも皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（北川勝義君） いつじゃあ言うたんかな。

- 教育長（内田恵子君） 8月上旬です。
- 委員長（北川勝義君） 上旬じゃな。
- 教育長（内田恵子君） 4日からとお聞きしております。
- 委員長（北川勝義君） 違う違う、何日。
- 教育長（内田恵子君） 1週間。
- 委員長（北川勝義君） 1週間じゃな。
- 教育総務課長（安本典生君） 委員長。
- 委員長（北川勝義君） 安本課長。
- 教育総務課長（安本典生君） それでは、教育委員会資料をお願いいたします。

1、事業の進捗状況について、まず教育総務課から小・中学校非構造部材耐震補強計画案について御説明をさせていただきます。

資料1ページをごらんください。

非構造部材の耐震化につきましては、壁や天井、窓ガラス、照明の落下防止対策などを行うものでございます。今年度山陽小学校と高陽中学校の耐震工事を実施しております。今後も有利な財源を確保しながら、計画的に整備し、児童・生徒の安全確保と避難所としての機能確保のために万全を期したいと考えております。整備の順番につきましては、基本的には建築年度の古いものからと考えておりますが、危険度合いや他の工事との関係から若干実施年度を調整しております。例えば、吉井中学校につきましては、プールの新築工事やトイレの改修、洋式化工事の関係で平成32年度に先送りなどをさせていただいております。

簡単ではございますが、教育総務課からは以上でございます。

- 社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。
- 委員長（北川勝義君） 土井課長。
- 社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） それでは、スポーツ振興課からスポーツ整備計画案について説明させていただきます。

資料の2ページをお開きください。

市内の体育施設については、市民のために魅力あるスポーツ空間を計画的に行い、競技スポーツや生涯スポーツの推進を図るため、計画的な整備に努めてまいりたいと考えております。

2019年度は大きな修繕はございませんけれど、赤坂ファミリー公園のベンチ椅子の取りかえ、赤坂体育センターの天井照明の改修設計など、あと吉井B&G海洋センターでは高圧電気開閉器の老朽化で電気保安協会からの指摘により交換を予定しております。2020年度以降についても、山陽ふれあい公園など市内各施設の計画的な整備を実施したいと考えております。特に照明のLED化については水銀灯が2020年度に製造中止となることから財源を確保しながら早期の対応をしてまいりたいと考えております。

以上、スポーツ振興課からです。

○中央学校給食センター所長（久山勝美君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 久山所長。

○中央学校給食センター所長（久山勝美君） それでは、給食センターのほうからは学校給食業務の運営について、学校給食調理業務等一部民間活力の導入についての説明会を実施いたしましたので、その概要について報告をさせていただきます。

資料の7ページから10ページをごらんください。

まず、1、開催日程及び参加者数についてですが、開催場所はそれぞれ市内各中学校5カ所、参加については各中学校区単位でそれぞれの幼稚園、小学校、中学校のPTA役員等を対象としております。開催日程については資料のとおり5日間、参加人数につきましては全体で58人の参加をいただきました。まず、説明内容につきましては、一部民間活力の導入検討の今までの経緯、学校給食業務のうち、直営で行うべき業務と民間の活力が導入可能な業務、安全・安心な給食を提供するため、7つの項目について調査研究を行ってきた内容などの説明を行いました。調理員等技能労務職員を新規採用しない方針の中、正規調理員の減少により各センターにおいて各班2名の正規調理員の配置ができなくなりますので、市の方針は安定的に学校給食を提供するため、まず1つのセンターに民間の活力を導入し、直営と民間を比較検証し、次の段階へ進みたいという説明を行いました。その説明に対しまして、2のところ質疑、回答、意見の主なものを示しております。全体的に民間の活力の導入については何が何でも反対という意見は出されませんでした。導入するのであれば今の給食の質を維持できるような仕組みづくり、食中毒や金属類の異物混入など重大な事故を起こさないためのマニュアルの作成が大事である。また、民間の調理員のスキルを上げることや調理場内での監視の強化やチェック機能が必要などの意見をいただきました。今後については、今回の説明会でいただいた意見を踏まえまして、方針を決定し、平成32年度中、1つのセンターへの民間の活力の導入に向けて準備をしていきたいと考えております。

教育委員会からの説明は以上でございます。

○委員長（北川勝義君） 続いて、どこ。

○総務部長（前田正之君） 進捗状況は以上です。

○委員長（北川勝義君） 消防本部はええんじやな。

○総務部長（前田正之君） はい。

○委員長（北川勝義君） 執行部のほうから現在の進捗状況の報告がありました。

委員の皆さん、質問を受けたいと思います。

どこのところでも結構ですから、各自言っただけければ。それで、先ほど申しましたように、土井課長のことがあるんで、そこのところをまた先に1番に、おられんでも部長がおられればわかると思うんじやけど、先にそこを1番に聞いてください。お願いします、もし、ありましたら。なかったら聞いとこうか。

さっきちょっと聞き漏らしたかもしれんのですけど、移住相談会のときに5組が来て、1組がおためし住宅使うてみてえという話がありました、たしか。それがあって、できたら僕はこの間も総合政策部長に相談を受けて、何か今吉井の仁軒屋というところじゃけど、そこじゃあどうも不便な言うて、確かに山おりに道まで行くのにこの山陽みてえに交通機関が発達してないから、困るといのがいろいろあって、違うところ借ってくれというて探したら、ええなあというところがあったんじゃけど、なかなか大き過ぎておえんよというて、帯に短し褌に長しじゃけど、思うようにできんのんで、今言ようところは城南小学校の近くでええんかなと今思うたんじゃけど。もしよかったら、また検討してください、もう一度見て。

それからもう1点は、来てもらう人に来てもらうたらそこがえかったなというんで、何かのイベントがあるときに相手の都合もあるんじゃけど、相手が例えばというたら子供さんがおったら小学生とかおったら、夏休みとか春休み、冬休みにいきたいということになると思うんです。それから、幼稚園とか保育所も、うちの孫も埼玉おって帰ってこい言うたら5月の連休とかいろいろなことになって、普通のとときにはなかなか帰れん。何ぼ京阪神であっても大阪であっても、なかなか来てくれえ言うても、たった1時半か2時間ほどで来れるところでもなかなか来にくいというのがあるんです。3日とか4日休みがなかったらできんというんで。それで、これはこっちにおられる方が言うんです。ただ、来ただけで、えかったなというて見てもらうと、それは地味なというんか質素なというんか、今この田舎の風景見てもらやあ、ああこれでよかったなというて、これは山陽来とったら山陽よりは吉井のほうが田舎がよかったな、田舎過ぎるなというのいろいろあるんです。その中で話をして、この間も実は草刈りをしとって勝手な話をしょんのがそういう家の話も私のところは中村というんじゃけど、周匝、中村、福田、草生というて、空き家がふえたなというて、どこが空き家になつたらというたら、もう5年ぐらいしようたら先生、半分言うたらおえんけど、もう10軒、15軒すぐふえると、空き家がという話になったんです。それで、何ならというたら、魅力ねえネオポリスがええからネオポリスに出ていくかなという話も最後でたりして、何とか頑張らにゃおえんのんで、来てえ人もおられるんでという話をしようたら、我々が言うたらソフトボールがあるとか、納涼祭りがあるとか、ワイン祭りがあるとか、英国庭園でイベントをしようとか、山陽でも夏祭りしようとか、そういうときに呼んで入れたらどんなんというて。何にもねえで来て、赤磐言うたら何もなかった、えかったなというてぱっと来たら、それで終わりかなという話になるんじゃねえかという意見が出たりしたんで、それは若い人だったんです。草刈りした後で懇親会しようたら、そういう話が出たんで、ぜひ今度やられるときにひとつそういうことを考えてやったら、ああそれじゃたらええなという时期的に合うか合わんかわからんです。そりゃ、こんなことを言うたら、実質実現したかどうか、話が飛んでしまうんじゃけど、ワイン祭りってあったんです、是里で。今もやりよんじゃ、ワインフェスト。是里でワイン祭りして約700人、地元も入れて800人ほど集めて焼き肉もして、1日楽しゅう演劇もして、そしたらカッ

プリングがどうこうそこですとかじゃなしに、そこへ来た人が知り合って、本当に結婚した例もあるんです。実際その赤磐に住むとかじゃないんですけど、よそへ住まれたけど、そういうこともあるんで、十分に皆と知り合える時間を過ごしゃあ、ひょっとしたら移住というのもあるんじゃないかなと思うて、そういうことが1点あったら、また今後考えていただきてえなと思う。今すぐに、この時期を変えるということではできんので、来られる方に合わせにやおえんのんで。

それからもう1点が、できましたら来られるときに前もっていつごろじゃというのを我々にも言うてくれたら、関係の来られるところですよ。おためし住宅の周りのところへいつごろ来るというのは早目にPRしとってあげたら、区長さんぐれえにいつごろこういうのがあるんじゃないかなと思うて、別に上手やっちゃれえというんじゃないけど、今思うたらそういうことも今後考えていただきたいなと思ったんです。

それからクラウドファンディングのやるので、少なくとも20名程度、少のうてもやる言われて、少のうてやるのもええんじゃないけど、今の状態で言ようたら、大体いっぱいになるんじゃないかなと、見通しはどんなんじゃないろうか、このやられるのが、これも僕は今思うたのが熊山英国庭園を利用してするけん、英国庭園を主でやって、次のサブで使うんじゃないかなとええことじゃないかなと思うたんじゃないけど、さっきも言うたらこういうふうにしてもらいてえなという気持ちがあった。どんなんじゃないろうか、見通しがもうちょっとわかりゃあ教えてください、その2点です。

○まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） おためし住宅の件でございますが、委員長の言われたとおり相手の都合もあります、移住される時、体験をされる時には時期に合ったイベント等ありましたら御紹介をさせていただいたり、こちらに来られる日が決まってない場合はこんなイベントがありますよとか周知したいと思います。

続きまして、クラウドファンディングのことですが、こちらのほう現在20名程度募集しております。17名、今参加していただいております。あと5日ありますので、20名程度は集まるのではないかと考えております。金額については50%の9万3,000円のうち4万7,000円集まっております。金額は十分集まれば豪華にできるかな、ピザの具がふえるかなというぐらいのものなので、別に問題ないと考えております。これからまた、何回か回数を重ねるにつれて人数をふやしてネットワークを広げていきたいという趣旨でやっておりますので、今回は恐らくまず第1回目としてはいい調子でいくのではないかと考えております。

以上です。

○委員長（北川勝義君） ここへ古民家のリノベーション、石窯ピザに興味のある方ぜひともというて、これは原則的に言うたら僕や松田さんは関心があるけえ、行こうかって、来られん

のが当たり前じゃと思うんじゃ。来られんと言うたらおえんけど、市内、例えばこれを何か県外からとか、来た方だけがそれを体験してええというより、そこへ下山さん松田さんが来たら5人ぐれえが市内の人も入ってもええというのは歓迎してあげるという意味よ。こういうええところがあるから、さっきの交流と同じで、そういうところへ行けるようなことも今後考えたらようなるんかなと思うて、生の声というんか。ここは市がするんじゃけど、市もある意味で言うたら、こういうことをあっせんしょうるということは不動産業者みたいなもんなんじゃ。大体不動産業者というたらええことばあ言うんじゃ。僕はそれでいろいろなったんじゃけど、不動産業者を悪う言うたら、本当のことを言うてあげたら、来る者がやめるんです。5万円ほどあったら吉井町に住めるとか、1カ月の生活費が、それはできんの、水道も電気もガスもというて言ようたら、国民年金も入らにゃおえんとか言ようたら、奥さんでもパートに行かにゃいけんでと話をしょうたり、そこらがあるんで、そこを今思うたんで、そういう生の声を聞けるのも今後考えてほしいなと思うたんで、職員がおられるからやっていただけると思う。

それから、来られる方にこういう何かやるのに、ただ遊ぶというのもええんじゃけど、結論は赤磐へ定住してほしいわけじゃろ、目的というのは。その中で言うたら、来られとる方、今の方、仕事がどこかとか、仕事のあっせんとかそういう話やこうは出るんですか、出んのんですか。全然こういう英国庭園で研修して集まって、古民家のあるところに行って話をしてお茶を飲んで、ピザを食べて、こういう田舎暮らしもいいですよというて体験談聞いて、終わりかな。それとも、来てえという人がおったら移住・定住の相談じゃねえけど、仕事の相談とか、そういうことはこの中にあるんですか、ないんですか。

課長。

○まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） こちらへ今応募されている方、実際に赤磐市へ移住されている方、転入、定住をされている方も応募されております。それから、新しく市外から来られる予定の方もおられます。赤磐市をよく知っていただくということで、実際仕事に関してなんですけど、広報しているのがクラウドファンディングというページからしております。ということで、こちらに興味を持たれた方にクラウドファンディングを活用して何かしようかなとかという興味を持たれた方に定住を勧めたいというのもあります。

○委員長（北川勝義君） しょっぱなじゃなしにな。

○まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） はい、そうです。

○委員長（北川勝義君） はい、わかりました。ありがとうございます。

他の皆さん、何かありませんか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） もうちょっと聞きたいんですけど。17人の、市がやると思うんですけど、大体県内の方なのか、県外の方なのか、その割合がわかれば教えていただきたい。

○委員長（北川勝義君） 課長。

- まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） 県外の方というのはまだわかっていません。
- 委員長（北川勝義君） 県内は。
- まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） 今恐らく半数以上が市内ということで、赤磐市内です。
- 委員（松田 勲君） 市内の人もおられるのか。
- まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） 市内へ移住で来られた方。
- 委員長（北川勝義君） 土井課長、今の松田さんの話じゃねえんじゃけど、場所はどこですか、ピザをすることは。
- まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） ピザをする場所は……。
- 委員長（北川勝義君） ピザというよりミーティングじゃな。
- まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） 英国庭園をそのまま奥に進んでいただいて、家で言うと山に上がって行って、2軒手前ぐらいのところに新しく移住されまして、この方が……。
- 委員長（北川勝義君） わかりました。ありがとうございました。
- まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） 済みません。
- 委員長（北川勝義君） 今、実盛委員から聞いたから大体わかった。
- 僕が言いたかったのは同じで、こういうことをクラウドファンディングもえんじゃけど、やりかけて移住相談会じゃねえけど、生まれとる方はえんじゃけど、経験もしていきやあえんじゃけど、この人がピザでミーティングするのもしてきたから、こういうこともあってええこともあり、悪いこともあり、話があるけん生の声聞けてええと思うんじゃけど、こういうのはセットにして、便でやってあげりやあええんかなと思うたというのがおもしれえかなと。僕ら悪うばあ言われようんじゃけど、そのまま置いとるピザの機械が要るんじゃたらいつでもどこでも使うてもらやあええと思う。寄附せにやおえんぐれえと思よんじゃけど。端的な話、単発で終わらんようにしてもらいてええと思うて、それでこのピザがええかどうかわからんのんじゃけど、何やかんやりやあええかなと思うたんじゃ。何ぼぐれえか聞いとこうか、人数は。市内の人は何人おるんか、半分ぐれえか。
- まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） 約半分ぐらい。
- 委員長（北川勝義君） これようわからんのじゃなあ。そうなったらわからんのんじゃな、悪いことはねえんじゃけど。
- 委員（松田 勲君） 委員長、別の。
- 委員長（北川勝義君） 松田委員。
- 委員（松田 勲君） もういいですか、別の。
- 委員長（北川勝義君） ちょっと待って。済みません、これにつきまして、移住相談とクラウドファンディングのことについてはよろしいか、皆さん。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） そしたら、土井課長は帰ってください。

ほかもあるんか。

○まち・ひと・しごと創生課長（土井常男君） 予算の関係が。

○委員長（北川勝義君） 予算はええが、それは。部長えかろう。内容審査せんけん、ここで定例の議会してやるんじゃったら、ざっと流すだけじゃから、予算上のこと聞いたら事前審査になるんで、帰っていただきゃあええと思う。どうしてもおりてえならおりゃあええけど、帰られりゃあええと思うんじゃけど。そうしてください。

〔まち・ひと・しごと創生課長 土井常男君 退場〕

○委員長（北川勝義君） 他のことで、進捗状況について聞きたいのがありましたら。

松田委員。

○委員（松田 勲君） 財務部の件で、桜が丘の土地交換の件なんですけど、一応確認なんですけど。2番というのは1丁目の集会所の前のあたりですか、これ。集会所の前じゃなくて、太陽光の入り口のところです。それと、3番は今グラウンドになっているところですよ。前貸してたところの場所ですよ。一応その確認と、土地交換の今回の予定している1番です、これ前もちょっとお話ししたんですけど、今あそこ大和さんが今持ってらっしゃって多分貸してると思うんです。トラックが何台か置かれてるし、あの辺はほとんどトラックが置いてる以外は草ぼうぼうの状態なんですけど、その辺の整備はどちらがするのかどうかわかれば教えてください。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 小坂課長。

○管財課長（小坂憲広君） 場所につきましては、桜が丘東1丁目のほうです。赤丸の2番になります。こちらのほうですが、太陽光発電があるすぐ横になります。東の1丁目の集会所につきましては、2番の一番右肩にある部分が集会所の位置になります。それから、3番のほうですが、桜が丘西8丁目のグラウンド、ちょうど二井から上がったところ、それから北小の南側の給食センターが少し見えますが、南側のあいたグラウンドになります。場所についてはそのようなところです。

それから、①番の交換予定地のほうなんですけど、今大和さんが貸されてる件につきましては、そのあたりは双方で現在の所有者のほうで整理して、交換に当たるということになります。

以上です。

○委員長（北川勝義君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 交換するのに後でごちゃごちゃならないように。今ずっとあそこに3台、4台トラックとまってるんで、多分とめるなとなるとなかなか難しいんじゃないかなとい

う気がするんですけど、その辺も含めて円満に解決するようにぜひ交渉をお願いしたい。

それから、給食センターのほうの関係で説明会をされたということで、参加対象がPTA役員になっておりますが、桜が丘中学校は磐梨中学校より少ないんですが、これは正式な学区で言うと、桜が丘小学校とか、幼稚園を含めて磐梨に入ってるからかなと思うのですが、PTA役員が何人中何人参加したかというのはわからないんですか。多いのか少ないのかよくわからないところがあります。わかれば教えてください。

○中央学校給食センター所長（久山勝美君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 久山所長。

○中央学校給食センター所長（久山勝美君） 桜が丘小学校、桜が丘保育園は磐梨中学校エリアのほうへ入っていただいております。

それから、今回PTAの役員の方のそれぞれの所属の全人数を把握しておりませんが、各所属で5名以内ということで参加をいただきました。平均すると、5名はいらっしゃらなくて3人から4人平均の参加をいただいております。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

○委員（松田 勲君） はい。

○委員長（北川勝義君） 皆さんに聞く前に大和ハウスの関係なんじゃけど、これは副市長に聞きゃあええんか、誰に聞きゃあええんかわからんけど、同駐車場というのがあらあな、1番のところ。これは大和のもんじゃろ、まだ。これは交換してもらえるか何かできるんかな。これができなったら、意味ありやあへん話で。僕はここの3,000平米のところより、同駐車場を先に交換してもらおうとくべきじゃと思うて、そりゃあ近い将来またできるんですよという条件で話し合いがついとんじゃったらええけど、話し合いがついてねんじゃったら意味ありやへんで。これは検討はどねえなとんかな。副市長でもええ、どなたでもええ、答えれる者が答えてください。僕は市長といろいろ一般質問とか話しとるだけじゃ、全体的にやらせてもらいてえんじゃと。ショッピングセンターも赤磐市が取得してきれいにやらにゃあいけんのんじゃという話を聞かせてもろうとんですけど、どうなとんかな。前提でできるということを条件でいっとんか、いやいや違うんじゃと、まだどうなるかわからんのんじゃと。それで、さっき小坂課長のほうがこの関係のは管財課じゃのうて、どこがしょうとと言うたんかな。

○管財課長（小坂憲広君） 地域整備推進室。

○委員長（北川勝義君） 地域整備推進室がするとか言うた。どうなとんかわからん。この見通しを聞かせてください。見通しがわかってねえのに、こんなことをうかうかやられてから、裏へ道があるけど、極端な話をしたら最後は入り口がのうて、最後の尻の辺もらうんじゃったら、入り口はねえということになったら大変なことになるんで、このままじゃったら利用価値が何もありません。どねえなことになっとんじゃろうかなと思うて。いきいき交流センターの臨時駐車場というてやりようより、こういうところじゃったらええわけじゃ。見通し

を聞かせてください。まさか市が見通しも何もねえ、でたらめなええかげんで思いつきでやりようという、将来的にはショッピングセンターも赤磐市が交換しているいろいろあってやりようから、全体計画の中の今3分の1とか進んでいきようという話がなかったらいけんと思うんじゃ。どんなんですか。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 小坂課長。

○管財課長（小坂憲広君） 大和からの話としては、現在交換予定地となっているところについて、条件が合えば交換に応じますよという話がきているため、今回の交換に。

○委員長（北川勝義君） そりゃいけん。そんなことになってねえんじやったら同駐車場が交換になりませんよというたときにはどうするんな。友實市長東京行つとるから電話してもええけど、聞いた話は皆さんも議員も桜が丘、特にここへ永徳さんもおられたり、松田さんもおられたり、ここ改造してくれとか、交差点改良してくれとか。あと2軒とか3軒ぐらいになつとんで、もうお話中じゃという話になつとんで、将来的になるということを目的でやってもらわなんたら、おえんということで裏ばあ交換しようという話になりゃへんよ。言ようことがわからんか。そりゃあ、そういう努力してもらようとか、こういう話になっていきようんじやと。僕は市長とか大和の関係者に話を聞いたのは全体的にこういう話になっていきようから、全体をやっつかにゃおえんと地権者の皆了承をもらっていきでんじやという話をしとつたから、それで順次してもらうとこを前へ進めていきよんじやなという考えでおつたんじやけど、それがまだわからんのんじやと言われたんじや。

倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） この中心部に位置するこれらの土地を、これをまちの活性化のために利用したいということで、それは交渉に当たっては、大和ハウスとそれから2人の地権者、ショッピングセンターのほうはありますけども、そことも交渉を進めております。

それから、ここの交換予定地ですけども、交渉をしている中でこういう土地についてという話があったので、その交渉は地域整備推進室のほうを担当としてやっております。それは将来的にここを立体的に土地活用していきたいということのもとにこれからも進めていこうということでございます。

○委員長（北川勝義君） 全体こういう構想でしてなかったら後からここは違うんじやというたら、この同駐車場というのは松田さんが買うんじやというて、わしが金があるから買うんじやというたら困ろうがなという話をしょう。第1番の条件は赤磐市と話を持っていく、そういう話で持ってってもらわなんたら、僕らも再々一般質問であそこへ文化施設つくりゃあええじゃねえかという、市民ホールでも建てりゃあええじゃねえかという話も大きい話じゃあええけども、きれいにやってもろうて、家の玄関が汚ねんじやおえんからきれいにしてもらいてえという話をずっと言って大和さんもわかつとることじゃから、大和さんはこれを交換することで物

すごいプラスアルファが出てくる。これすぐ埋めてしまう、大和は。ここやこうじゃ埋まりゃあへんで、交換予定地じゃったら、はっきり言うて。そりゃなぜ埋まらんというのはいろいろあるからじゃ。じゃけん、そこらも考えてもらわなんだら、僕は今、倉迫副市長が言われたことはええんじゃけど、仮に違う人が買われると言うたら大変なことになります。じゃけん、そのところは全体計画で地域整備推進室がやりようんじゃと、そういう計画でやりようんじゃと、ただ売り買いじゃから、交換できん場合もあろうし、そりゃいろいろな諸条件があると思うんじゃ。やってもらえりゃあ、せえが今まで大和と赤磐市というたらええ関係をつくってきて、最終処分場のことで全部できてから皆瀬戸町へもしたり、いろんなことを大和も協力してくれてやっとなんじゃから、今後そのことも大和も踏まえとるはずじゃから、やってもらえんと思うんで、ぜひそういう計画にしてください。そうじゃなかったら、この後ろだけでよろしいと言うたら、大和も詐欺みたいなものじゃ。後ろだけでようて前は売っちゃらんと言うたら詐欺師やりようるような感じになると思う。

それから、僕は2番の桜が丘東1丁目のところの、これは今何も使ようらんのかな。集会所、何か駐車場とか使ようらんのか。

○委員（松田 勲君） 幼稚園か何かの……。

○委員長（北川勝義君） 使うてないんかな、何もねえ。

○副委員長（永徳省二君） 全くの平地です。

○委員長（北川勝義君） それから、西のところは何か使よんか。

○委員（松田 勲君） 西は貸しとった。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○管財課長（小坂憲広君） 西のほうは、何も今使っておりません。

○委員長（北川勝義君） どこに貸しとったんか。

○管財課長（小坂憲広君） もともととは二井地区がこちらを引っとられたんですが、二井地区のほうも管理できないということで市のほうに返していただきました。

○委員長（北川勝義君） 返してもろうたということか。

○管財課長（小坂憲広君） はい。その後は何も特段使っておりません。

○委員長（北川勝義君） 6,000平米ぐらいになら要らんことじゃねえけど、大和じゃったら今1区画大体何ぼなんか、大和は。

○管財課長（小坂憲広君） 250から……。

○委員長（北川勝義君） ほんなら、1反で4つぐれえいくんじゃな。

○管財課長（小坂憲広君） ぐらいです。

○委員長（北川勝義君） ほんなら、これだけしたら結構大和もにぎやかになるな。その要らんことを言うんじゃねえけど、今の太陽光反対じゃ反対じゃ言ようんじゃけど、太陽光近いけ

ど、問題ねえんじゃないろうか、売れるんじゃないろうか。大和じゃけえ、何とかすらあな。

わかりました。私のほうはよろしいです。

他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それでは、事業の進捗状況について終わります。

その他について何かありましたら、説明願いたいと思います。

○秘書企画課長（小引千賀君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○秘書企画課長（小引千賀君） それでは、平成31年3月定例議会の提出予定議案について御説明をさせていただきます。

総合政策部資料3ページをごらんください。

赤磐市過疎地域自立促進市町村計画の変更についてでございます。

当初予算において予定している事業について、過疎債を財源としている場合は起債の手続より前に県との協議の上、この計画に変更を加えることとなっております。それぞれの事業につきましては、当初予算計上時に議会で審議していただくこととなりますが、秘書企画課では予算が認められた場合に、その財源として過疎債を充てることができるよう事前に定められた手続を行うものです。変更箇所といたしましては、山方研修センター改修事業及び吉井きのご館改修事業について、それぞれ施設利用者の高齢化が進み、トイレの洋式化改修が必要であることから、計画における事業を新規に追加するものです。

引き続き、資料4ページをごらんください。

平成31年度赤磐市一般会計予算案についてでございます。

新規の事業を中心に主なものについてのみ補足説明をさせていただきます。

まず、公聴広報事業ですが、新たなものとして広報紙の仕分け、配付業務委託と市勢要覧作成業務がございます。広報紙の仕分け、配付業務につきましては、印刷会社から納品された広報紙を地区単位の部数に仕分けし、各区、町内会へ持参する業務について、これまで職員が延べ2日半ほどかけて行っていたものを民間活力の活用のため、シルバー人材センターへ委託するものです。また、来年度はホームページのコンテンツ策定を予定しておりませんので、新たな事業を予定しておりますが、全体として238万2,000円の減となっております。

次に、生活交通対策事業でございます。

こちらにつきましては、対前年度比156万7,000円の増となっておりますが、その主な理由といたしましては、昨今の公共交通を取り巻く情勢に対応するため、会議の開催回数大幅にふえ、会議に向けた資料作成や評価検証業務と多岐にわたっております。そのため、公共交通会議負担金の増額を見込んでおります。

次に、市民バス運行事業でございます。

こちらにつきましては、対前年度比215万1,000円の増となっております。路線変更に対応するための予算が主な理由となっております。

次に、広域路線バス運行事業についてでございます。

こちらは、事業費の増額として主に美作線の委託料増額によるものでございます。

次に、シティプロモーション事業につきましては、対前年度比259万2,000円の減額となっております。これはあかいわももちゃんが今年度ゆるキャラグランプリで目標を達成したことから事業費を見直したものでございます。

最後に、地質資源活用事業でございますが、平成29、30年度の2年間、岡山県事業に参加していた吉井川流域の5市6町による取り組みを県の事業終了後も継続するため、新たに協議会を設立するための負担金と地域の宝を地域の子供たちや一般の市民の皆様幅広く知っていただくためのイベントやツアーなどの取り組みを実施するため、地球史研究所の委託料を予定しております。

秘書企画課からの補足説明は以上です。

○総合政策部長（作間正浩君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 部長。

○総合政策部長（作間正浩君） それでは、まち・ひと・しごと創生課の補正予算（第5号）のほうに説明入らせていただきます。

まず、歳入でございますが、国庫支出金、事業進捗と交付見込みの変化によりまして、減額になっておるものでございます。

それから、その下のプレミアム付商品券事業費補助金でございますが、本年の10月から予定されております消費税の増加に対して経済対策ということでプレミアム付商品券の事業が行われることになっております。これは新規事業に当然なるんですけれども、国のほうから事務費等がくることになっておりまして、そのために増額の補正予算をさせていただくものでございます。

それから、その下の寄附金でございますが、ふるさと応援寄附基金ということで、ふるさと納税によるものでございますが、予算的には8,000万円の収入を見込んでおりましたが、補正後につきましては6,500万円ということで実績見込みを上げさせていただいております。その減額になっております。

続きまして、歳出でございますが、当然ふるさと納税で入ってくるお金が減るものですから、出ていくお金も減るということで、そちらのほうは謝礼の減額、それから代行手数料の減額というふうになっております。

それから、プレミアム付商品券でございますが、これに伴いまして事務がふえますので、1人臨時の職員を雇用いたしますので、このための費用、それから消耗品、印刷費、それから通信運搬費、それから個人の確認をすると、重複して何度も出すことにならないので、個人を特

定するためのシステム管理の委託料ということで見込んでおります。

以上が補正予算でございます。

それから、31年度予算についてでございます。

地方創生推進交付金の活用ということで、従来の事業を見直して、これを進めることとしておりまして、その予算を見込んでおります。

それから、あかいわに戻ろうプロジェクトということで先ほどからお話がありましたが、情報発信とか、あかいわを応援してくれる人をつなぐネットワークの事業、こうしたもの、それから若者の活躍促進、就職支援、婚活事業の展開、それから新婚さんが赤磐市に住んでいただいて、お子様を育てていただくための家賃補助と、あとはクラウドソーシングの先ほど御説明いたしました、そうしたものを推進していこうと考えております。

それから、公有財産の購入ということに関しましては、山陽団地の活性化に資する土地の購入を行おうと考えておるものでございます。

それから、その下、移住・定住推進事業でございますが、こちらは移住相談窓口を市内におきまして、市内でそういう空き家等探されとる方の市内案内、移住される方の相談、それからクラウドファンด์、そういったことを進めていきたいというような事業でございます。

それから、移住支援の関係、連携中枢都市との合同事業ということで、連携した事業のほうを市内外でやらせていただくという予算になっております。

それから、赤磐市総合戦略推進事業でございますが、平成27年から総合計画を策定いたしておりますが、前期5年間でここで一応終了ということになりますので、来年度その検証、有識者会議、アンケート調査、満足度調査、研修、セミナー、それから人材育成というようなことを考えておりまして、このための予算を計上しております。

それから、地域おこし協力隊の事業でございますが、今までいろいろ活躍していただいております地域おこし協力隊でございますが、この方たち6人分を新たにふやしていこうというふうに考えておりまして、こちらの募集経費等の計上をしておるものでございます。

それから、ふるさと納税推進事業といたしまして、ふるさと納税をふやしていくために、サイトの拡大や商品の拡大、それから寄附者への返礼パンフレット等に工夫を加えるというような予算を上げさせていただいております。

以上、総合政策部でございます。

○総務課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 原田課長。

○総務課長（原田光治君） それでは、総務部資料の1ページをごらんください。

平成31年3月議会定例会提出予定議案についてでございますが、1つ目が赤磐市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例です。

これは、働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律によりまして、国におき

まして超過勤務命令を行うことができる上限を定めるなどの作業が進められております。そういったことから、市におきましても国の取り扱いに準拠し、条例改正を予定するものです。

次に、2ページ目をごらんください。

②赤磐市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例についてですが、一般職等の期末手当につきましても、平成31年度以降6月期及び12月期の手当が均等になるよう配分することとしたため、特別職においてもこの一般職の改正に準拠し、期末手当の支給率を改正するものです。

続きまして、③平成30年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）の関連でございます。

アの住民情報システム運営管理事業では歳入の減額補正がございました。以下に記載のとおりでございます。続きまして3ページ、イの県議会議員選挙費の関係では、選挙の期日が平成31年4月7日に決定されまして、期日前投票期間の一部が平成30年度中に前倒しとなるため、これに必要となる執行経費及び財源を計上するものです。

続きまして、4ページ、④平成31年度赤磐市一般会計予算の主なものとしまして、アからカまで掲げさせていただいております。

新規としましては、イの住民情報システム運営管理事業の無停電電源装置の更新、それからエの内部情報システムの運営管理事業としまして、内部情報系パソコンのリース料、それからカとしまして任期満了が7月28日に予定されております参議院議員選挙費の計上を予定しております。

○くらし安全課長（中川裕敏君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 中川課長。

○くらし安全課長（中川裕敏君） くらし安全課の3月予定の補正予算について説明いたします。

歳入歳出予算の内容は5ページからになっておりますが、まず7ページのほうをお開きください。お願いいたします。

コミュニティFMの整備状況について、まず説明をさせていただきます。

当初既存の防災行政無線の4中継局の鉄塔、右の8ページの黒丸で表示したところと新たに2局の中継局、8ページの黒の三角で提示したところのその部分の中継局の新設ということで、市内に合計6中継局の整備と岡山シティエフエム内の親局の放送設備の整備を行う計画で総額1億560万円を予定しておりました。実施に当たり、現況の調査を詳細に行ったところ、弱電界が発生するというので総務省中国総合通信局、また親局の岡山シティエフエムと協議を行い、中継局位置、整備内容を検討いたしました。それにより、変更の整備計画を行ったところ、防災行政無線の既存鉄塔を使うのではなく、新たにパンザマストという鉄塔の建設を行い、8ページに載っております赤い四角で示した可真下の大盛山、石の宇根山、是里の山鳥山に中継局の整備と親局内の放送設備の整備を行う計画となりました。事業計画の変更に伴い、

事業費が変更となったものを載せておりますが、委託料につきましては416万8,000円の増額でございますが、防災行政無線の保守点検委託料の執行残283万7,000円を差し引いた133万1,000円の増額を予定しております。合わせて1,760万9,000円の増額予定でございます。

9ページをお願いいたします。

工程についてですが、大盛山、本局整備は11月7日に交付決定がございまして、ほかの施設につきましては平成30年度事業として3月末に交付決定予定となっております。これにより、全ての工事完成が来年度の2020年1月予定となっております。これにより、全市での放送につきましては、2020年3月の予定となっております。

それでは、5ページへもう一度お戻りください。

歳入歳出について、まずア、防災行政無線管理事業の先ほど説明いたしましたコミュニティFM整備事業の歳出につきましては、委託料、工事請負費、土地購入費ということでおのこの増額予算を上げております。また、歳入につきましては、国庫補助金の無線システム普及支援事業等補助金が減額、そして過疎対策事業債も370万円の減額の予定でございます。

続きまして、イ、防災費の自主防災組織活動支援事業補助金の歳出についてですが、自主防災組織の活動が当初想定したものより少なかったために293万7,000円の減額予定です。歳入としましては、県の補助金、地域防災力強化総合支援事業補助金の146万8,000円の減額予定です。

6ページをお願いいたします。

繰越明許費についてでございますが、先ほどの工程説明のとおり、年度内完成ができないということで繰越限度額をここに載せております歳入歳出についておのこの計上予定でございます。

続きまして、10ページをお願いいたします。

平成31年度の赤磐市一般会計予算についてですが、主なものを載せておりますが、その中で大きなものとしてイの財産管理費、防災行政無線保守点検委託料3,711万7,000円ですが、これにつきましては防災行政無線の国の基準改正により、新規格に合う対応を行っていくものがございます。また、工事請負費の防災行政無線施設整備工事は新しい住宅団地ができたものと、コミュニティハウスの移設に伴った整備工事に伴うものがございます。

続きまして、オ、防犯対策費には3行目の防犯カメラ設置補助金を前年度はございませんでしたが、地区からの要望が上がってきているもの7基分としてここで計上する予定でございます。

続きまして、クの災害対策費、防災費につきましては、7月豪雨等の影響もございまして、県の防災計画書が大きく書き直される予定と情報が入っておりますので、市の防災計画書につきましても修正委託料としてここで計上する予定にいたしております。

くらし安全課の説明は以上です。

○総務課長（原田光治君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 原田課長。

○総務課長（原田光治君） それでは、総務部資料の一番最後11ページをお願いします。

平成31年4月からの組織・機構についてと題しております。

行財政改革の取り組みとしまして、職員の定員適正化の推進を行っております。これらに対応するため、組織効率上の観点から、課の再編、課及び班の統廃合を以下のとおり予定しておりますので、お知らせさせていただきます。

総務部からは以上です。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 小坂課長。

○管財課長（小坂憲広君） はい。財務部資料2ページをお願いいたします。

赤磐市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例についてでございます。

3月議会での上程予定議案になっております。

こちらのほうですが、赤磐市法定外公共物管理条例の一部改正に伴う条例の改正でございます。

行政財産使用料の特例としまして、太陽光発電設備の設置を目的として行政財産の土地を使用する場合の使用料を赤磐市法定外公共物管理条例に規定する占用料に準じた額、こちらのほうが年額評価額の1000分の36と定めるものです。こちらのほう法定外公共物との整合性を図るため、今回条例の改正を行うものでございます。

(1)番につきましては以上でございます。

○財政課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○財政課長（和田美紀子君） 財務部資料3ページをごらんください。

30年度の一般会計補正予算、まず財政課分について御説明させていただきます。

歳入、まず地方交付税につきましては、国の追加交付がございましたので、増額するものです。その下の財産収入、利子及び配当金、2つ下に行きまして、繰入金、地域振興基金繰入金、もう1つ下、歳出の総務費、財政調整基金費、またもう1つ下の総務費、減債基金費につきましては、基金の利子収入、運用収入の見込みにより増減をさせるものになっております。歳入の上から3つ目に戻っていただきまして、繰入金、財政調整基金繰入金につきましては補正予算による財源調整のための繰入金の減額となっております。

歳出の一番下、こちらは点で書いておりますが、ふるさと応援基金の実績が決まりましたので、こちらについて該当の基金に積立金を増額するという補正になっております。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 小坂課長。

○管財課長（小坂憲広君） 続きまして、管財課の補正予算について説明します。

資料4ページになります。

総務費、総務管理費156万3,000円の減額でございます。

こちらのほうですが、契約管理システムの更新に伴いまして、データセンターを利用せず、庁舎へのサーバー設置になったため、データセンター利用料のほうを減額するものです。

それから、総務費、財産管理費146万1,000円の減額でございます。

こちらのほうですが、7月の豪雨災害の復旧工事の執行残を減額するものでございます。

(2)番につきましては以上でございます。

○財政課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○財政課長（和田美紀子君） 続きまして、5ページ。

平成31年度一般会計予算案の財政課分を御説明します。

まず、歳入の上から1つ目、2つ目、3つ目、それから6個目、こちらの臨時財政対策債、こちらは国や県の見込みにあわせて、それぞれ計上をさせていただいているものです。

歳入上から4つ目の財政調整基金繰入金に関しましては、歳入歳出予算総額で不足額を補うために基金から繰り入れる額を計上しております。1つ下の繰越金、これは30年度から31年度への繰越金ですが、前年度と同額の予算とさせていただいております。

歳出に行きまして、財政課の事業であります総務費、財産管理費につきましては、公会計制度に対応するための事業費、公債費につきましては公債費の支払いで決まった額を積んでおります。また、予備費は6ページに行きまして、前年度と同額で計上しております。

以上です。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 小坂課長。

○管財課長（小坂憲広君） 管財課の当初予算になります。

資料6ページをお願いいたします。

まず、総務費、一般管理費のうちの管財課の所管分になります。1,173万3,000円、こちらのほうですが、物品購入、契約管理、入札等に係る経費でございます。それから、総務費、財産管理費、こちらのほうも管財課所管分になりますが、1億89万1,000円になります。こちらのほうは本庁舎、庁用車、公有財産管理、公共施設等総合管理計画事業に係る経費ですが、主なものとしましては旧消防本部訓練塔解体工事費1,259万8,000円、それから庁舎等調査委託料2,323万円を新規に計上いたすものでございます。

続いて、総務費、施設管理費になりますが、2,774万9,000円。こちらのほうは桜が丘いきいき交流センターの管理運営に係る経費を計上するものでございます。

管財課からは以上です。

○税務課長（遠藤健一君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○税務課長（遠藤健一君） 財務部の31年度一般会計予算案でございます。

6 ページの下段をごらんください。

税務課、収納対策課のほうでは歳入のほうで主に市税でございます。市民税はそこへ書いてありますとおり、今の景気の経済情勢、このあたりを反映して決算額等も見合わせまして個人市民税についてはおおよそ前年度並みなんですけれども、法人市民税のほうを少し多目に見ておまして5.7%の増と、それから固定資産税につきましても状況を見ておまして、決算の見込み等も考えまして4.3%の増、軽自動車税につきましても税制の改正でありますとかによりましての買いかえ需要、このあたりも見込みまして3.9%の増、市たばこ税につきましても昨年度からの増税がありましたので、このあたりを見込みまして5.4%の増ということで市税全体では4.9% 2億2,581万2,000円の増ということで見込んでおります。

歳出につきましては通常経費でございますが、市税の賦課徴収に係るシステムの関係、納税通知書の処理の関係、過年度の還付金などの経費を上げております。また、3年に1度の固定資産税の評価がえの準備といたしまして新年度は土地鑑定の評価委託料というのが少し増額になっておりますので、前年度対比は16.7%の増ということで予定をしております。

財務部からは以上でございます。

○教育総務課長（安本典生君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 安本課長。

○教育総務課長（安本典生君） それでは、教育委員会資料をお願いいたします。

2のその他といたしまして3月議会への提出予定案件でございます。

初めに、教育委員の選任についてでございます。

資料11ページのほうに候補者の略歴と12ページに現在の委員名簿をお示ししております。12ページにあります委員名簿の中にあります日名委員から平成31年5月19日の任期満了を持って退任の申し出があり、後任に山陽地域の遠藤益恵さんをお願いするものです。

遠藤さんは教職経験があり、人柄も申し分なく、教育委員として適任でありますので、専任の同意をいただきますようよろしくお願いいたします。

続きまして、平成30年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）についてでございます。

資料のほうは13ページをお願いいたします。

まず、教育総務課の補正についてでございます。国の平成30年度補正予算に伴う学校施設の空調設備整備事業の補正をお願いするものでございます。翌年度計画分の前倒しで実施するもので、現在残っております小学校の1年から3年の普通教室と音楽教室を前倒しして実施するものでございます。

歳入の補正として、1の冷房設備対応臨時特例交付金3,459万2,000円を活用し、残りは合併

特例事業債6,310万円を財源として活用するものでございます。事業費の歳出補正は②の1億667万円でございます。また、歳出の1の職員人件費の減額補正ですが、主に幼稚園教諭の育児休業実績見込み等によるものでございます。

次のページをごらんいただきたいと思っております。

繰越明許費でございます。こちらにつきましては、空調設備整備工事について全額繰り越しをさせていただくものでございます。

教育総務課からは以上です。

○学校教育課長（松井啓子君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○学校教育課長（松井啓子君） それでは、学校教育課分をお願いいたします。

学校教育課分は歳出のみですが、こちらは小学校で35人以下学級のための市費の負担の常勤講師の配置について、当初山陽西小学校の5年生、それから山陽東小学校の6年生での2名の配置の予定でしたが、児童の転出がありまして1名の配置になりましたため、560万円の減額をお願いするものです。

学校教育課からは以上です。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 社会教育課、スポーツ振興課の説明をさせていただきますので、15ページをお開きください。

まず、社会教育課のことでございます。

両宮山古墳墳丘裾整備工事に対する国庫補助が国の財政難により、補助金が4割カットされたことから歳入、歳出それぞれ約4割を減額するものでございます。

スポーツ振興課の補正につきましては、熊山運動公園整備に係る歳入補正で申請しておりましたスポーツ振興くじ助成金が交付されることから4,000万円を計上し、合併特例事業債を3,800万円減額するものでございます。

16ページをお開きください。

繰越明許のことでございます。

ふれあい公園維持管理事業として下水道接続工事を予定しておりましたが、公園内の配管の口径が250ミリと下水管の口径150ミリの違いや公共ますまでの高低差12メートルに対応するための技術的な検討に時間を要したことなどから年度内の完了が見込めないため、予算の繰り越しをお願いするものでございます。

もう1点、熊山運動公園整備事業につきましては、人工芝と照明の工事は完了いたしましたけれども、残りの選手控室や観客席給排水工事を行うもので同時施工を想定しておりましたが、資材の搬入ルートが1カ所になることから、工事間の調整で段階的な整備が必要となり、

年度内の完了が見込めないため、予算の繰り越しをお願いするものでございます。

以上、補正予算について説明をさせていただきました。

○教育総務課長（安本典生君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○教育総務課長（安本典生君） それでは、教育委員会資料の17ページをお願いいたします。

引き続き、平成31年度の一般会計当初予算案について御説明を申し上げます。

教育費の主な予算について項別に申し上げます。

まず、教育総務費への計上でございます。

1の職員人件費のほか、2の一般管理費の産官学連携協力事業といたしまして837万8,000円、これはベネッセコーポレーションの学習タブレットや大学と連携したドリルを市内小学校で活用し、子供の学習意欲の向上、基礎基本の徹底を図るものでございます。

続いて、3の学校教育経費の主なものといたしまして、小中学校に遠距離通学する児童・生徒の通学のためのスクールバス運行業務委託料として3,265万1,000円、また4の学校施設耐震補強事業では非構造部材耐震補強工事請負費として1億1,800万円を計上し、学校の安全対策の向上を図るものでございます。

7には小中学校の英語指導、英語活動補助を行う外国語指導助手配置事業として、4,567万6,000円を計上し、9の電算管理事業には児童・生徒の情報処理能力の育成やわかりやすい授業の推進のためのコンピューター機器の維持管理を行うもので、パソコン借上料6,648万4,000円などを計上するものでございます。

11の生徒指導総合実践事業1,229万3,000円は不登校や暴力行為、いじめ等児童・生徒の指導上の問題に対する支援を行う予算でございます。

次に、小学校費への計上でございます。

1の職員人件費のほか、2の一般管理事業の主なものといたしまして、特別支援教育支援員報酬や35人以下学級の対応のための市費、講師賃金などを計上するものでございます。

続いて、中学校費では1の職員人件費のほか、2の一般管理事業の主なものとして特別支援教育支援員、非常勤講師報酬などを計上するものでございます。

また、小、中学校費の扶助費につきましては、就学援助費として平成31年度から卒業アルバム代などにも対応できるよう増額をしております。

資料18ページをお願いいたします。

続きまして、幼稚園費でございます。

1の職員人件費のほか、2の一般管理事業の主なものとして預かり保育の充実のため、保育指導料の報酬などを計上するものでございます。

次に、社会教育費のほうでございます。

1から3の職員人件費のほか、4の地域学校協働活動推進事業226万円は学校、家庭、地域

社会が連携、協力して地域ぐるみで子育てをする体制づくりのための費用でございます。

6には永瀬清子の里づくり事業といたしまして501万円、9の史跡保存整備事業として4,012万1,000円、これは、両宮山古墳墳丘裾の自然崩壊の対策を講じるための予算で、平成30年度に引き続き事業を行うものでございます。

11の公民館学習活動推進事業として644万2,000円、13の図書資料購入費などの図書推進活動費といたしまして2,391万2,000円を計上するものでございます。

15の日本遺産推進事業といたしまして228万5,000円、これは日本遺産推進協議会負担金194万6,000円、日本遺産PRパンフレットなどの作成費でございます。

最後に、保健体育費でございます。

3の体育施設一般管理費では、山陽ふれあい公園等指定管理委託料といたしまして9,697万4,000円、吉井B&G海洋センター等の指定管理料といたしまして3,500万円を計上するものでございます。

最後に、学校給食センターの関係では、7の学校給食施設維持管理事業の主なものといたしまして、東学校給食センターの真空冷却機更新費用として482万3,000円を計上するものでございます。

教育委員会の来年度当初予算の関係は以上でございます。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） 消防本部資料をごらんください。

3月定例議会提出予定議案の赤磐市消防団条例の一部改正について説明をさせていただきます。

消防組織法第18条で、消防団の設置、名称及び区域について、第23条で非常勤消防団員の身分、取り扱い等について、それぞれ条例で定められておりますが、定員、任免、給与、服務等に関する条例を準拠しておらず、懲戒や分限についての規定が定められていないことから条例を一部改正して、消防組織法の法令と整合を図るものです。

また、団組織の機構改革に伴い、別表第1の団員報酬の欄に女性部長6万4,000円を加え、消防団の役職名と報酬の整合を図るものです。

続きまして、平成30年度赤磐市一般会計補正予算について歳入から説明させていただきます。

消防費国庫補助金の355万7,000円は事業費確定による減額によるものです。

歳出につきましては、常備消防費、職員手当等の61万3,000円は実績見込みによる減額です。

消防施設費、工事請負費の98万3,000円は戸津野無線中継所のり面修繕工事の入札残を減額したものです。

また、備品購入費の205万円は高規格救急自動車の整備事業の入札残を減額したものです。

続きまして、平成31年度一般会計予算案について説明させていただきます。

まず、歳入につきましては、受託事業収入、山陽自動車道救急事業支弁金489万9,000円は平成30年度実績金額を計上させていただきました。

次に、市債、施設整備事業債と一般単独事業債を合わせて3,820万円を計上させていただいております。

歳出につきましては、常備消防費で、職員の給与、各種手当、共済費5億4,929万円を、施設維持管理事業で4,375万6,000円、職員教育等負担事業としましては救急救命士教育事業、消防大学校、岡山県消防学校教育事業で662万4,000円を計上させていただきました。非常備消防費の団員報酬は2,189万5,000円、費用弁償1,200万円を計上させていただきました。消防施設費は消防ポンプ自動車更新で4,100万円計上させていただいております。

続きまして、資料にはございませんが、第14回赤磐市消防団消防操法訓練大会について御案内いたします。

来る3月24日曜日、赤坂ファミリー公園にて9時から訓練を開始いたします。寒い時期ではございますが、足をお運びいただき、御声援をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

以上で報告を終わらせていただきます。

○委員長（北川勝義君） 執行部のほうから30年度補正予算、31年度予算、それから条例関係等の説明がありました。

皆さん何か質問がありましたら、前もって申し上げておきますが、3月議会があります。事前審査にならない程度でよろしく願いたいと思います。何かありましたら願いたしいと思います。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 庁舎等調査委託料と2,323万円上がとんじゃけど、これは総務委員会では今も耐震改修でこういう見解に至るとんじゃと思うんですが、そういう方向で出すんじやろうけど、他の議員さんに周知するということになっとるけど、それはできとんか。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 管財課長。

○管財課長（小坂憲広君） 他の議員さんへの周知ですか。

○委員長（北川勝義君） そう言うとするがな。

○管財課長（小坂憲広君） 当初予算の説明の中でさせていただこうと思っております。

○委員長（北川勝義君） あれ送ったろうが、こういうやり方するという。総務委員会が終わって、資料を出しとろう、皆配とろう、こういうことをやるというのを。各議員に総

務委員会のときにこういう資料が出て、比較検討出て、それを出したと思う。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 委員長が言われよんのもそうなんですけど、それはいろいろな案が載って、へえでこれでいくというのはできてないと思うんで、その辺が予算を出す前に重要なことという話が全協でもあったんじゃないと思うんで、そういうふういきちっとできてますかということをお聞きした。全協の席で、皆さんがおるところで、重要事項じゃから、きちっと説明しといて出しなさいというような見解に至ったと思うんじゃないけど、そういうことができとるか、できてねえかということを知りたい。

○委員長（北川勝義君） 副市長。

○副市長（倉迫 明君） こういう案ならこれくらい金額がかかるということで、総務委員会をした後に全員協議会でもその案は持ち帰らせていただいて、その場では連絡というか、報告はさせていただいたところです。今回の調査委託については、今後予算審査等で諮ってまいりたいと思います。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） ちょっと待って、下山さん。倉迫副市長、下山委員は大体総務委員会で決まったら、内諾を得たら各委員会へ配付してくれと、ほかの委員会はどうか、うちのは全部配付しようなんです、オープンで。その中で、決定じゃというのが出てなかったということを下山委員は言われよんで。今僕もそのとおりだと思う。全員協議会の中じゃあ、こういう方針でやりたいというのを言われて、倉迫副市長も予算上はこれはぴたっと前が違いますわな。じゃけえ、これはこの委員会のときに審査してというのがあって、ぜひあした下山さんが言われよんで、全協がありますので、全員協議会のほうでこういうようになるということで、人事案件もあるし、いろいろ詳しく説明して、下山さんが、それで行かにはあおえんのは皆さん頭の中です承しとんじゃけど、スムーズにやってもらいてえということを知りたい。それからこれは、100万円ほどの車買うてくるいうてとごちゃごちゃ言よんじゃのうて、庁舎の耐震じゃから、そういう意味でよろしいな。そういうことでよろしくお願ひします。

副市長。

○副市長（倉迫 明君） 今おっしゃられたことは、そのように取り扱い、あすの全協のほうで述べさせてもらうということにさせていただきます。

○委員長（北川勝義君） はい、お願いします。

○副委員長（永徳省二君） 今の……。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○副委員長（永徳省二君） 以前の委員会で私たしか耐震化に関しては、今回耐震化するんであれば、合併特例債を使って幾らかかりますよと、建てかえするんだったら幾らかかります

よ。ただ、これが耐震化しても30年後には建てかえなければいけませんよと。そのときには当然合併特例債を使わずに庁舎を建てかえなければいけないということになるので、31年後までのトータルで予算はどっちが幾らかかるのと、赤磐市は幾ら出すのという質問をしたはずなんですけど、その答えが全然返ってきてないんですけど、どうなってるんでしょうか。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 小坂課長。

○管財課長（小坂憲広君） イニシャルコストの関係だと思います。こちらのほうも検討していく中で、そちらのほうも出していきたいと考えます。今すぐというのは難しいので、済みません。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員、よろしいか。

永徳委員。

○副委員長（永徳省二君） いつ出るんですか。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○管財課長（小坂憲広君） 早目には出したいと思います。

○委員長（北川勝義君） 課長、前の委員会的时候に30年後のことを言ようたけど、30年後というたらまた合併ある、そんなことはナンセンスかもしれないけど、自分らも思よんかもしれない。そうじゃのうて、30年後出してくれと言うたら出しますというて言うとなんじゃから、きょうらのこれ出たときには永徳委員が言ようるけど、出さにやいけんのんじゃ。今やりようるところから先にな。途中になつとんじゃ、アバウトでこうじゃとかというのを。いろいろ回答もあるわ、出さにやおえんと思う。それいつごろならというて確認されたんじゃけえ、もつとびちっと答えてやって、いつごろ出すんじゃったら、当初予算をするときには何ぼか次の委員会的时候にはそれを報告させてもらうとか。できんのんじゃったら、それは2年後にしたんじゃ意味ありゃへんで、全然。ここで予算上程するんじゃけえ、というのを何ぼか、全部どうこうじゃねえんじゃけど、というのを時期を聞いてえんで、明確に答えちゃって、そこは。

○管財課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○管財課長（小坂憲広君） 次回の委員会までには、出してみたいと思います。

○委員長（北川勝義君） そう言うてくれたらええんじゃがな。

○管財課長（小坂憲広君） よろしく申し上げます。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） 今の比較につきましては、今管財課長が答えたということで、そのような取り扱いにさせていただきます。

それから、庁舎等調査委託料2,323万円につきましての説明が先ほど不十分だったのかなと思いますので、私から説明をさせて……。

○委員長（北川勝義君）　うちはええんじゃ、ほかの議員にということじゃけえ、じゃからええ。副市長があした全協で、市長とか副市長がやっちゃるといふならそれで結構です。

○副市長（倉迫 明君）　はい。ただ、支所とか公民館……。

○委員長（北川勝義君）　それはまだまだ先じゃけえ。難しいわな、この間言うた。

○副市長（倉迫 明君）　その辺を本庁舎とあわせてやっていこうという調査をここへ入れとるもんですから、その点の説明が十分できてなかったと思います。

○委員長（北川勝義君）　わかりました。

暫時休憩します。

午前11時38分 休憩

午前11時40分 再開

○委員長（北川勝義君）　再開します。

松田委員。

○委員（松田 勲君）　2点ほど聞きたいんですが、1つは学校関係です。学校の空調施設設備が延びるような感じなんです、工程表見たら7月のあたりまで来とるんですが、間に合うんでしょうか。まず1点、間に合うかどうか。要するに、使う時期にちゃんと間に合わなかったら意味がないんで、間に合うかどうか。念のため確認なんです、これは低学年、今つけとんのは4年生から6年生と中学校だと思んですけど、今度は低学年ですね。1年生から3年生全教室に、全学校につくということで、これが延びるといふニュアンスで繰り越しになるんだけど、要するにそのシーズンに間に合うかどうかといふのを、間に合う方向でいくのかどうかを確認したいのと、それからコミュニティFM中継局です。僕は勘違いしとんかどうかはあれなんですけど、もう僕はできとんか、今年度でできるんかと思とったんですけど、これでいくとまだかかるのかなと、結局来年度から放送が聞けるんかと僕はそう思って皆に言ったんですが、結局来年度の末といふか、3月になるということで、これはいつの時点でそういうふうになったんでしょうか。途中経過は聞いてなかったもんで、もう既に4月以降はFM放送が聞けると思ってたんです。その辺が急にこんなんが出てから、何か当初からそういうふうを考えてたんじゃねえかなと思んですけど、どうなんでしょうか。もうちょっと詳しく教えていただきたい。

○委員長（北川勝義君）　安本課長。

○教育総務課長（安本典生君）　エアコンの設置の御質問でございます。

エアコン設置につきましては、補正予算で対応ということで、国の予算のほうがついたことにより、市としても前倒しで実施させていただくというものでございます。実際に工事のほうに間に合うのかという御質問だと思んですけど、この資料につけております14ページのほうで

は6月中下旬までの工程ということで矢印のほうを引っ張っておりますが、実質的な工事については暑くなる6月初旬ぐらいには完了していきたいと教育委員会のほうでは考えております。もともと設計のほうも全体でできればと考えておりましたので、設計書のほうはありますので、この議会で予算のほう議決いただきましたら、直ちに手続をして入札に入っていきたいと考えておりますので、それからつける教室につきましては今松田委員さん言われましたように小学校の1年生から3年生の普通教室と小学校の音楽教室でございます。

以上です。

○委員長（北川勝義君） 中川課長。

○くらし安全課長（中川裕敏君） FMの工程についてでございますが、昨年1月の委員会におきましても、繰り越しが一部発生する可能性があるということも言わせてもらったんですが、その後4月からの交付申請等を行い、そういう予定で進めていけば、何とか30年度内も可能かという可能性も持ったりしましたが、総務省のほうの交付決定が11月7日にまず大盛山についての交付決定があったということと残りについては予算の関係上、最初に全てつきませんでしたので、その後、ここで交付申請のやりとりを総務省と現在やっているところで、交付決定については3月末になるという返事をいただいておりますので、少しというか来年度末までが今の予定としての工程になっております。

以上です。

○委員長（北川勝義君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） FMのほうは早目にとにかくなるように震災でも来たら大変なことですから、早目早目に手を打っていただければと思います。それから、確認なんですけど、国の予算で空調設備が国からどんどんやるように来たと思うんです。さっき言われた国からの補正がついたということなんですけど、今までやってるやつは対象にならないんですか、そこだけ確認。

○委員長（北川勝義君） 安本課長。

○教育総務課長（安本典生君） 今まで本年度当初予算でやったエアコン設置の事業のことだと思いますが、そちらにつきましては今回の補正では対象にならないということで確認のほうしております。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

○委員（松田 勲君） はい。

○委員長（北川勝義君） 総合政策部の8ページのところの公有財産購入費等で山陽団地じゃというて、わかりやあどこで何するんかわかったら教えていただきたい、1点。

○総合政策部長（作間正浩君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 部長。

○総合政策部長（作間正浩君） 山陽団地につきましては、活性化のための基本計画、それか

ら実施計画を定めてやるということで現在検討しているところでございます。その中であそこの住宅団地につきましては高齢化が進んでということがありまして、新たに若い人が入ってくれるということを望まれております。それから、そうした種地が今住宅団地びっしり張りついておりますので、空き家はあるんですけども、空き家に若い人がすぐ入るというようなことも難しいということもありまして、お子さんをお持ちの若い方が入ってこれるような賃貸住宅等を整備できればということもありまして、今県のほうと交渉させていただいておまして、県営住宅の一部を譲っていただいて、そこを種地にして新たなものが整備できないか。

○委員長（北川勝義君） 種地。

○総合政策部長（作間正浩君） はい。種地にいたしまして。そこで新たな事業ができないかということで検討をしております。公民連携等でいろいろ活性事業のほうも考えておまして、そうした事業が進んでいくように空き地を1つずつ購入するというのは難しいので、県営住宅のほうの購入を考えておるところでございます。

○委員長（北川勝義君） これは内容に入るから、きょう言わんけど、県住やこう買うようになってねえわ。何のために県議会議員の西岡がおるんな、おめえ。仕事をして金をもろうてこい、それだけの報酬を。僕言うてあげらあ、下山さんにすぐ言う。県住は岡山県が管理していかんやおえんところを補助金もろうて崖を直せとかというて赤磐市が大分出しとる。じゃけど、これをやるのに子育てがどうこう言うて、はっきり言うて、今のさっきの移住・定住のことと同じ吉井の広過ぎるけえとか、広いけえおえん、大き過ぎるからおえんとか言い出したら切りがねえ。せえで、今度は山陽団地の県住のところあけて子育てのが入らなんだら誰が責任持つんな。県へまた買うてくれえというて払うんか。じゃけえ、こねえなんも中を使用させてもろうてやりゃあええんじゃねえかと。ぜひ倉迫副市長、ぜひこういうまだ31年度の予算なんで、全部使えというんじゃねんじゃから、認めんというんじゃねえ、やりゃあええんじゃけど、中へ突き進みょんじゃねんじゃけど、県住だから言ようる、県住を買わんでも、10年とか貸してもらおうとか、何とか方法論を、それで家賃を払うとかでよろしいがな。そういうやり方、購入言うたらおかしいかなと思うて、県がどうしちやるというのがわからんけど、これ今後検討してください。そのくらいでよろしいです、ここについては。

それから、地域おこし協力隊の6人分じゃけど、これは地域おこし協力隊の募集なんじゃけど、6人ぐらいでええんかな。物すごう和気町頑張りようて、それから瀬戸内市も頑張りようるから、何か負けとるような気がして、人口的なことを言うたら、うち10人おって協力隊頑張りようてくてもええんじゃねえかなと思うて。逆に吉井川の流域のほうしとらあな、あっちにふやすようになつとるけど、頑張りてほしいなと思うて、6人が妥当なというのは、募集は6人から変わらんのか、当たり前というたらおかしいけど。

○総合政策部長（作間正浩君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 部長。

○総合政策部長（作間正浩君） 現在、3名の方がこの地で活躍をしていただいております。新たに6名を予定するということですので。

○委員長（北川勝義君） 新たに、ふやすほうじゃな。

○総合政策部長（作間正浩君） 新たにでございます。

○委員長（北川勝義君） わかりました。いやいや、僕は6人だけじゃのうてもっとと思って、吉井のほうで是里とかいろいろやってくれよう、この間も研修聞かせてもろうて、頑張ってくれとんで、皆ええなあと思うて感心しとんじゃけど、数少ないな、もっとふやしてえなという気持ちがあった。そりゃあもう大歓迎でよろしゅうお願いします。

それから、コミュニティFMの関係、延びるのはええんじゃけど、大体聞いて。機械はどうするつもりなん。なかったら聞けりゃあへんがな。機械の助成とかいろいろ前1月のとき言うたが。

○くらし安全課長（中川裕敏君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○くらし安全課長（中川裕敏君） 前回にも今後検討していくという回答をしておりますが、現在ラジオにつきまして赤磐市内の業者のほうでつくるという意欲のある業者がございまして、そことの交渉も含めて今のところ機械をどのようにするかという検討も少ししておりますので、現在ここで来年度の予算にすぐ計上をしてはございません。

○委員長（北川勝義君） いや、何を言うると言うたら、山陽で一部は聞こえようるが、はっきり言って吉井は無理としても。それから、これはやり方というて吉井の中継所できたらくるかもしれんが、早うできたら、熊山は無理としても。来たら、聞けたときにラジオがなかったら聞けれんから、年の途中でも考えてもらわにや、しゃんとしとかにやいけんで、言ってくれにや。

中川課長。

○くらし安全課長（中川裕敏君） ラジオにつきましては緊急割り込み等のできるラジオということを考えておるんですが、一般のFMを聞ける790をあわせればラジオであったり、一般家庭のラジオでも聞こえますので、活用をお願いしたいと思います。

○委員長（北川勝義君） わかりました。

それから、次のことです。庁舎のことは下山さんが言うたからええんじゃけど、財務部6ページの税務の関係、増額になるとか、市のたばこ税が増税効果を見込んで5.4%増じゃ言うけど、大体庁舎でたばこを吸うようになつとらんと思うけど、吸ようる者がおるけえ、余り言わんでもええ、受動喫煙の話はしちゃおえん。不納欠損、滞納関係、決算委員会でも言ようた話じゃけど、不納欠損のあり方、それから滞納関係、どうなつとるかわかりや、きょうがわからにやあ次回の委員会でもええけえ、教えてほしい。何を言ようと言うたら、軽自動車税が3.9%増なんじゃけど、いつも軽自動車は前の廃車してのうて、多かつたが。あれがどねえな

つとるか、そういうのも次の委員会のとときに遠藤課長、わかるように教えてもらいてえという気持ちがあるんで、やり方がどうこうという話をしょんじゃねんで、してほしい。

それから、人事のことじゃけえ、余り聞かんほうがあええかもしれんんじゃけど、教育委員会の人事案件で教育委員さんが変わられるんじゃけど、教育委員さんが大体今言うたのを何か聞きようたら、長うしとるけんとかというて言われようた。申し入れがあったというて、妥当というたら何年なんか。今言ようるのようわからなんだんじゃ。わかりゃあ、ねんでしょう、任期が何年、何期せえというのは。

○教育次長（藤井和彦君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 藤井次長。

○教育次長（藤井和彦君） 任期4年で更新の期限とかは特に規定はありません。今まで合併して以降、大体最長で2期していただいております。広く教育に対しまして、市民の方から意見をいただくということもありますので、任期の目安というのはございませぬけれども、長くないように委員さんを交代していくのが広く市民の意見を反映した教育行政になるのではないかというふうに思っているところでございます。

○委員長（北川勝義君） 違う違う。次長、そういう意味で言ようんじゃのうて、おるところはええんじゃ。次々次々やってくれて意欲があるとは、・・・・・・・・・・・・・・・・・・言うたら言い方が失礼じゃ削除して、意欲じゃのうて、該当になる人がおらなんだり、まだ子育てをやらにゃいけんんじゃというて今やりようる方も子育てがいろいろえらいと思われるけど、頑張っちゃろうかというのに、何か1期ずつか2期でやめようたら、もうやめにゃおえんんじゃねえかと思うたら、今度は次を探すというたら言い方悪いんじゃけど、なかなか難しゅうなるとして、そういう意味もあつて、教育長32年4月にはやめるんかというて、いやまだやってもらやあええと思うけど、例えばの話ですが、そういうことも出てくるからとて、それでおるのはええよ、次々おるところは。おらんところは探していくの困ること、吉井の辺で言うたら、なかなか今度は区長さんを探すのに、今度3月の区長選挙で弱るというようなことがあるんで、できたらそういうことを考えてほしゅうねえな、続けてほしいなということをお願いしたかった。誰でもええという話をしようるんじゃのうて、わかりました。

それから、消防のことなんですけど、榎原課長、立て板に水みてえに言ようたけど、おめえ平成30年度じゃねえんか。言い直したり、30年というてまた言い直したんじゃけど。

○消防本部消防総務課長（榎原秀幸君） 30年度。

○委員長（北川勝義君） 年度でええんじゃろう。榎原君言い直しようて、課長が30年度と言うたら、もとい30年というて言ようたけど、30年度でええんじゃろう。消防長、しゃんとしてくれえよ。消防長悪う言ようるんじゃねえけど、表へ書いとろう、30年度、31年度というて書いてあるんじゃから、補正とかというたら、こんなもんは子供が見てもわかる話じゃが。1年生、2年生の職員がしとんじゃったら注意せんけど、プロパーじゃが。それから、総務文教委

員会に出すときにはぴちっとやってください。次のときにはここへせめてよそじゃねえ、ここだけでも直しといて。年度でも入れてくれりゃええから。全部コピー焼き直せじゃねえ。もし、今できとったら、度だけ入れてください。そうせなんだら格好悪いから、能力問われるから。能力問わにゃおえんのんじゃねえかと思うたんで、私の言いてえのはそういうこと。

何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） 先ほども申しましたように、昼食を中央給食センターのどこへ、感想も聞かせていただきたいということになっております。

それから、手元へ消防のほうで予算をつけておりましたのが、消防長のほうが出していただいたのが約4,100万円分の更新のが出とりますので、消防長、課長、決まったわけじゃねえな。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） まだです。

○委員長（北川勝義君） この予算だけの、出ておりますので、了承を願いたいと思いますので、参考資料出しております。

それから、他の委員さんよろしいですか、これで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） 他にないようなので、これで第2回総務文教常任委員会を閉会したいと思います。

閉会に当たり、教育長のほうから御挨拶をいただきたいと思います。

○教育長（内田恵子君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 内田教育長。

○教育長（内田恵子君） きょうは事業の進捗状況及び3月の定例議会に提案、提出予定の議案につきまして説明をさせていただきました。

慎重に御審査、また貴重なる御意見をいただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

○委員長（北川勝義君） 皆さん御苦労さまでした。これで終わりたいと思います。

午前11時58分 閉会